

警察庁訓令第12号

触法調査又はぐ犯調査に関する書類の様式を定める訓令を次のように定める。

平成19年10月31日

警察庁長官 吉村 博人

触法調査又はぐ犯調査に関する書類の様式を定める訓令

少年警察活動規則（平成14年国家公安委員会規則第20号）第17条第2項、第20条第1項及び第5項、第21条第3項、第22条第1項各号、第30条第3項、第31条第1項及び第3項、第33条第1項各号、第35条並びに第38条第2項の規定により触法調査又はぐ犯調査に関して作成する書類は、別記様式第1号から第47号までによるものとする。

附 則

この訓令は、少年法等の一部を改正する法律（平成19年法律第68号）の施行の日（平成19年11月1日）から施行する。

鑑定嘱託書

年 月 日

殿

警察署

官職

印

少年

に対する

触法事件につき、

下記事項の鑑定を嘱託します。

記

嘱託事項

鑑定処分許可請求書

年 月 日

裁判所

裁判官 殿

警察署

官職

印

下記少年に対する 触法事件につき、鑑定を  
囑託された次の者が、鑑定に必要な下記処分をすることの許可を請求する。

鑑定人の職業及び氏名

( 歳)

鑑定を囑託した年月日

年 月 日

鑑定囑託事項

事件の事実の要旨

記

1 少年の氏名

年 月 日 生 ( 歳)

2 鑑定人が立ち入るべき住居、邸宅、建造物若しくは船舶、検査すべき身体、  
解剖すべき死体、発掘すべき墳墓又は破壊すべき物

3 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

注意 少年の氏名が明らかでないときは、不詳と記載すること。

# 触法・ぐ犯調査

別記様式第3号

<b>申 述 書</b>	
(触法・ぐ犯) 事件	
住 居	
(電話 )	
職 業 学校・学年 (少年との関係)	
氏 名	
年 月 日生 ( 歳)	
上記の者は、 年 月 日	
において、本職に対し、任意次のとおり申述した。	
【申述書の結びの記載は、次の書式による。】	
①	
以上のとおり録取して読み聞かせたところ、誤りのないことを申し立て署名 印	
した。	
前 同 日	
警察署	
官 職	氏 名 ①

○ ○ ○ 警 察

- 注意 1 (触法・ぐ犯) の欄の該当部分に丸印を付けること。  
 2 (少年との関係) 欄は、少年本人が申述した場合は「本人」と、家族の場合はその続柄を記載すること。

(用紙 日本工業規格A4)

# 触法調査

別記様式第4号（少年法第6条の5、刑訴法第221条、第222条）

## 任意提出書

年 月 日

官職 警察署 殿

住居

職 業  
学校・学年

(電話 )

氏名

( 歳) (印)

下記物件を任意に提出します。用済みの上は、処分意見欄記載のとおり処分してください。

### 提出物件

番号	品名	数量	提出者処分意見	備考

注意 還付不要の物件には、提出者処分意見欄に必ず「所有権を放棄する。」旨明記させること。  
(用紙 日本工業規格 A 4)

# 触法調査

別記様式第5号 (少年法第6条の5、刑訴法第221条、  
第222条)

押収番号

年 第 号

## 領置調書(甲)

差出人  
住居、氏名

年 月 日

警察署

官職

印

少年 に対する 触法事件につき、  
本職は、 年 月 日、  
において、差出人が任意に提出した下記目録の物件を領置した。

### 押 収 品 目 録

符号	番号	品 名	数量	所有者の住居、氏名	備考
	1				

- 注意
- 1 符号は、証拠物総目録によって付ける押収物の整理番号である。
  - 2 家庭裁判所に送らないで処分したものについては、その旨を備考欄に記載すること。
  - 3 上部欄外の押収番号は、個々の事件ごとに付した番号を記載すること。

# 触法調査

別記様式第6号 (少年法第6条の5、刑訴法第221条、  
第222条)

押収番号

年 第

号

## 領置調書 (乙)

年 月 日

警察署

官職

印

少年 に対する 触法事件につき、  
本職は、 年 月 日、  
において、 が遺留したものと認められる下記目録の物件を  
発見したので、これを領置した。  
立会人 (住居、職業、氏名、年齢)

### 押収品目録

符号	番号	品名	数量	遺留者の住居、氏名	所有者の住居、氏名	備考
	1					

- 注意
- 1 符号は、証拠物総目録によって付ける押収物の整理番号である。
  - 2 家庭裁判所に送らないで処分したものについては、その旨を備考欄に記載すること。
  - 3 上部欄外の押収番号は、個々の事件ごとに付した番号を記載すること。

捜索  
差押 許可状請求書  
検証

年 月 日

裁判所

裁判官 殿

警察署

官職

印

下記少年に対する 触法事件につき、  
許可状の発付を請求する。

記

1 少年の氏名

年 月 日生 ( 歳)

2 差し押さえるべき物

3 捜索し又は検証すべき場所、身体若しくは物

4 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

5 少年法第6条の5第2項において準用する刑事訴訟法第218条第2項の規定による差押えをする必要があるときは、差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって、その電磁的記録を複写すべきものの範囲

6 日出前又は日没後に行う必要があるときは、その旨及び事由

7 事件の事実の要旨

注意 1 少年の氏名が明らかでないときは、不詳と記載すること。  
2 事例に応じ、不要の文字を削ること。



記録命令付差押許可状請求書

年 月 日

裁判所

裁判官 殿

警察署

官職

印

下記少年に対する 触法事件につき、  
記録命令付差押許可状の発付を請求する。

記

1 少年の氏名

年 月 日生 ( 歳)

2 記録させ又は印刷させるべき電磁的記録

3 電磁的記録を記録させ又は印刷させるべき者

4 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

5 日出前又は日没後に行う必要があるときは、その旨及び事由

6 事件の事実の要旨

注意 少年の氏名が明らかでないときは、不詳と記載すること。

# 触法調査

別記様式第8号（少年法第6条の5、刑訴法第218条、第222条）

## 捜索調書

年 月 日

警察署

官職

印

少年 に対する 触法事件につき、  
本職は、 年 月 日付け 裁判所 裁判官  
の発した捜索許可状を 示して、下記のとおり捜索をした。

記

1 捜索の日時

年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで

2 捜索の場所、身体又は物

3 捜索の目的たる物

4 捜索の立会人（住居、職業、氏名、年齢）

5 捜索の経過

注意 1 物件の所在発見場所、発見者、発見の経緯等は、できるだけ具体的に捜索の経過欄に記載すること。  
2 やむを得ない理由により令状を示すことができなかったときは、その理由を付記すること。

（用紙 日本工業規格 A 4）

# 触法調査

別記様式第9号（少年法第6条の5、刑訴法第222条、第119条、刑訴規則第96条）

## 捜索証明書

年 月 日

殿

警察署

官職

印

少年

に対する

触法事件につき、

年 月 日

において、

本職が行った捜索については、証拠物又は没取すべきものがなかったことを証明します。

# 触法調査

別記様式第10号（少年法第6条の5、刑訴法第218条、第222条）

## 差 押 調 書

年 月 日

警 察 署

官職

印

少年 に対する 触法事件につき、  
本職は、 年 月 日付け 裁判所 裁判官  
の発した差押許可状を 以示して、下記のとおり差押え  
をした。

記

1 差押えの日時

年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで

2 差押えの場所

3 差押えの目的たる物

4 差押えの立会人（住居、職業、氏名、年齢）

5 差押えをした物

別紙押収品目録記載のとおり

6 差押えの経過（少年法第6条の5第2項において準用する刑事訴訟法第218条第2項の規定による差押えをした場合又は少年法第6条の5第2項において準用する刑事訴訟法第222条第1項において準用する同法第110条の2の規定による処分をした場合には、その旨及び経過）

注意 1 物件の所在発見場所、発見者、発見の経緯等は、できるだけ具体的に差押えの経過欄に記載すること。  
2 やむを得ない理由により令状を示すことができなかつたときは、その理由を付記すること。

## 記録命令付差押調書

年 月 日

警察署

官職

印

少年 に対する 触法事件につき、  
本職は、 年 月 日付け 裁判所 裁判官  
の発した記録命令付差押許可状を 以示して、下記の  
とおり記録命令付差押えをした。

### 記

- 記録命令付差押えの日時  
年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで
- 記録命令付差押えの場所
- 記録命令付差押えの立会人（住居、職業、氏名、年齢）
- 記録させ又は印刷させた電磁的記録
- 電磁的記録を記録させ又は印刷させた者
- 記録命令付差押えにより差押えをした物  
別紙押収品目録記載のとおり
- 記録命令付差押えの経過

注意 やむを得ない理由により令状を示すことができなかったときは、その理由を付記すること。

# 触法調査

別記様式第11号（少年法第6条の5、刑訴法第218条、第222条）

## 捜索差押調書

年 月 日

警察署

官職

印

少年 に対する 触法事件につき、  
本職は、 年 月 日付け 裁判所 裁判官  
の発した捜索差押許可状を 以示して、下記のとおり  
捜索差押えをした。

### 記

1 捜索差押えの日時

年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで

2 捜索差押えの場所、捜索した身体又は物

3 捜索差押えの目的たる物

4 捜索差押えの立会人（住居、職業、氏名、年齢）

5 差押えをした物

別紙押収品目録記載のとおり

6 捜索差押えの経過（少年法第6条の5第2項において準用する刑事訴訟法第218条第2項の規定による差押えをした場合又は少年法第6条の5第2項において準用する刑事訴訟法第222条第1項において準用する同法第110条の2の規定による処分をした場合には、その旨及び経過）

- 注意
- 1 物件の所在発見場所、発見者、発見の経緯等は、できるだけ具体的に捜索差押えの経過欄に記載すること。
  - 2 やむを得ない理由により令状を示すことができなかつたときは、その理由を付記すること。

（用紙 日本工業規格 A 4）

# 触法調査

別記様式第12号 (少年法第6条の5、刑訴法第222条、  
第120条、刑訴規則第96条)

押収番号

年 第 号

押 収 品 目 録				少 年	ほ か 名	
符号	番号	品 名	数量	被差押人、差出人又は 遺留者の住居、氏名	所有者の住居、 氏 名	備考
	1					

- 注意
- 1 符号は、証拠物総目録によって付ける押収物の整理番号である。
  - 2 家庭裁判所に送らないで処分したものについては、その旨を備考欄に記載すること。
  - 3 上部欄外の押収番号は、個々の事件ごとに付した番号を記載すること。

別記様式第13号の1 押収物に付ける荷札

家庭裁判所	
年 第 号	符第 号
触法少年	
差出人等	
警察署	

別記様式第13号の2 押収物に付けるレッテル (大)

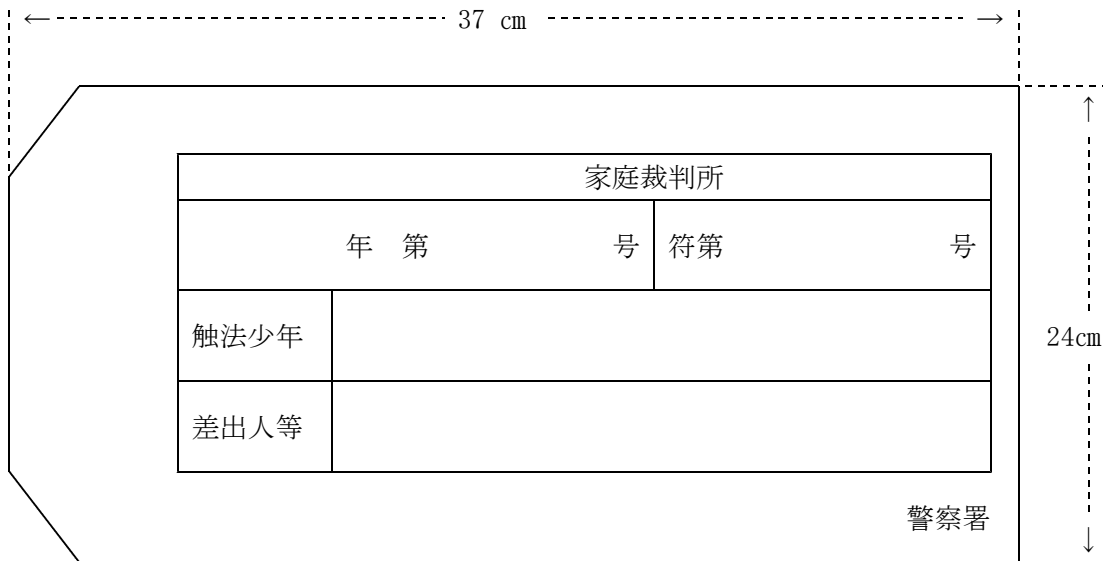
家庭裁判所	
年 第 号	符第 号
触法少年	
差出人等	
警察署	

別記様式第13号の3 押収物に付けるレッテル (小)

署	家裁	年
第	号	符第 号



別記様式第13号の4 押収物を入れる袋（大）

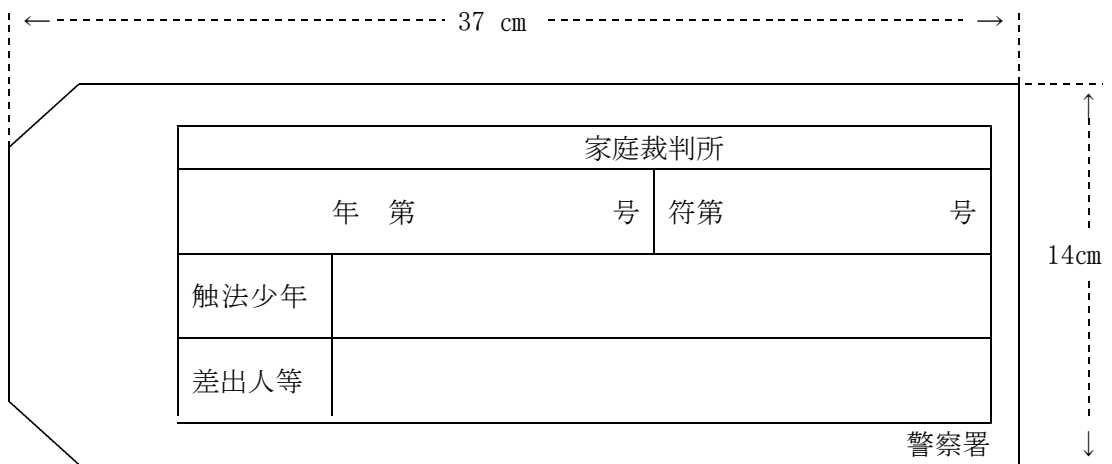


家庭裁判所

年 第 号	符第 号
触法少年	
差出人等	

警察署

別記様式第13号の5 押収物を入れる袋（中）

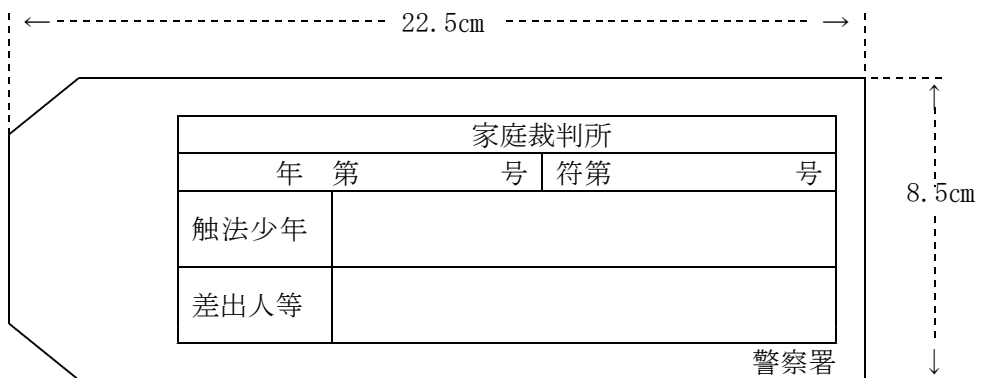


家庭裁判所

年 第 号	符第 号
触法少年	
差出人等	

警察署

別記様式第13号の6 押収物を入れる袋（小）

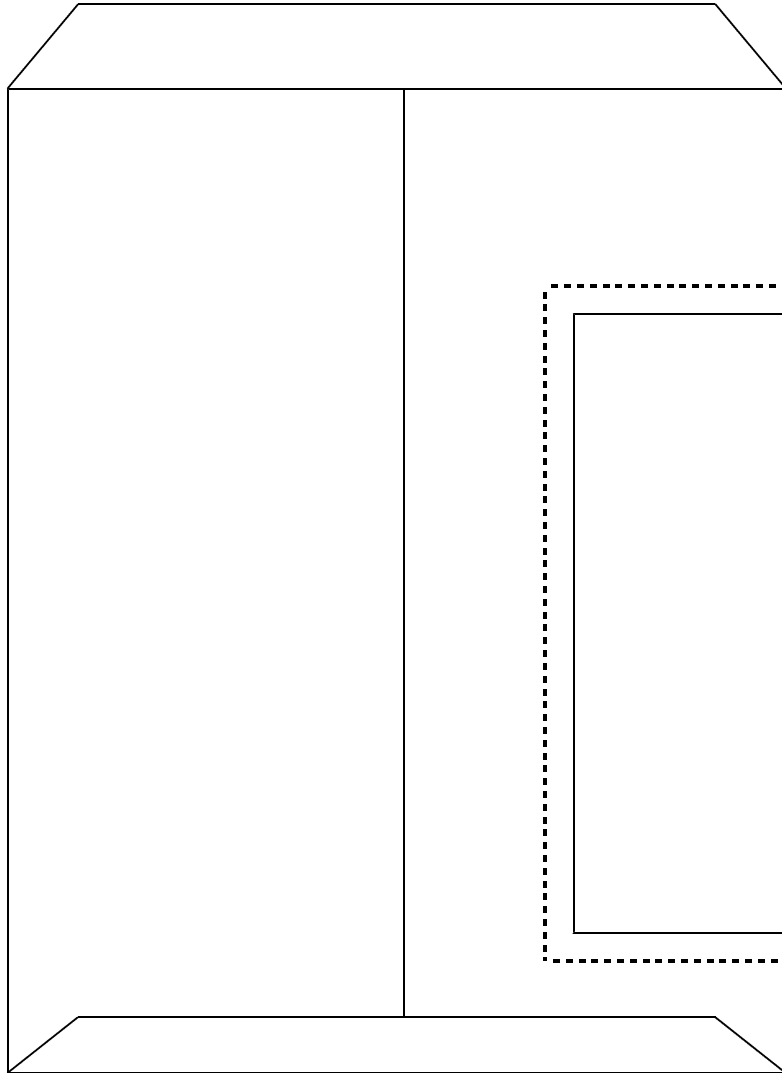


家庭裁判所

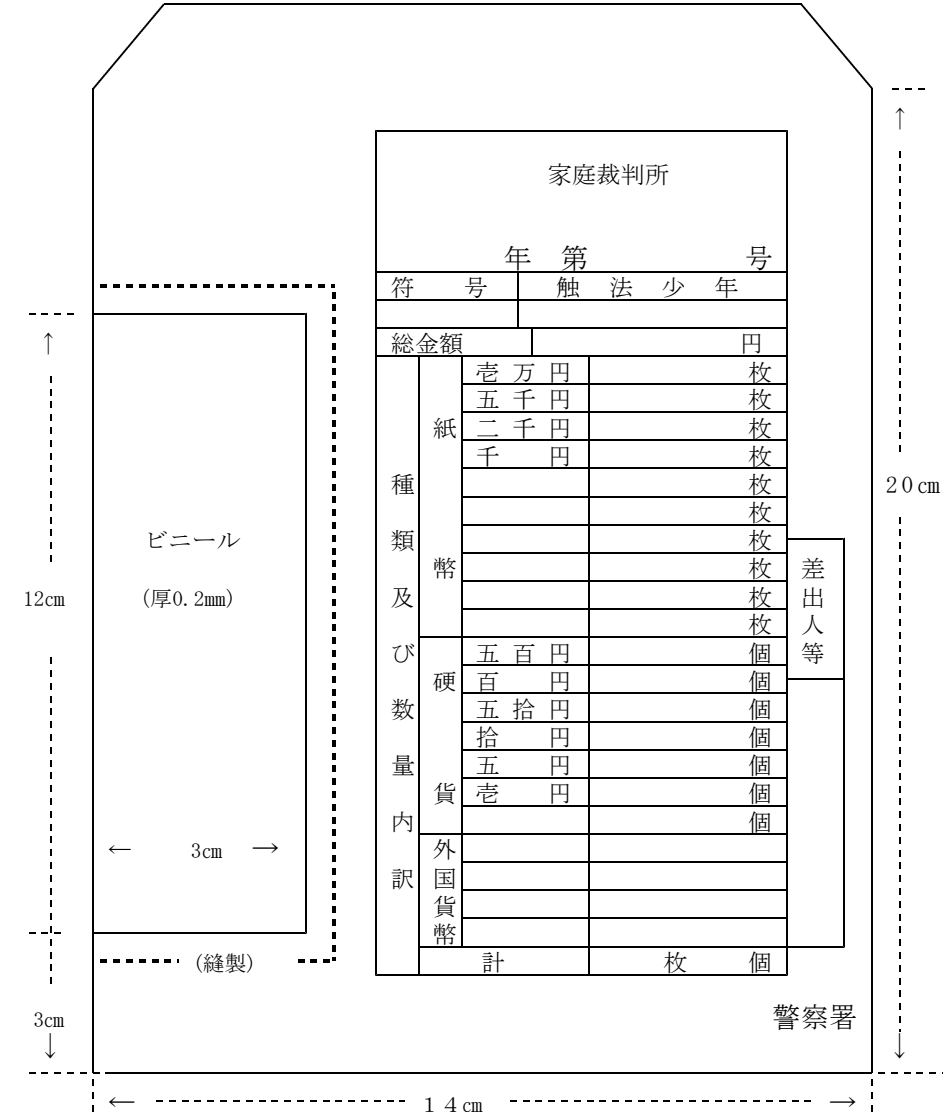
年 第 号	符第 号
触法少年	
差出人等	

警察署

(裏)



(表)



別記様式第13号の7 押収の貨幣を入れる封筒

注意 この封筒は換価代金以外の現金を送付する場合に使用すること。

# 触法調査

別記様式第14号(少年法第6条の5、刑訴法第222条、第120条、刑訴規則第96条)

## 押収品目録交付書

年 月 日

殿

警察署

官職

印

少年

に対する

触法事件につき、

年 月 日

において、

本職は、下記目録の物件を押収したので、この目録を交付します。

### 押 収 品 目 録

番号	品 名	数量	番号	品 名	数量

# 触法調査

少年	
罪名	

別記様式第15号

## 所有権放棄書

年 月 日

警察署

官職

殿

住居

氏名

印

下記目録の物件について所有権を放棄します。

### 目 録

符号	番号	品 名	数 量	備 考
	1			

注意 1 符号は、証拠物総目録によって付ける押収物の整理番号で、警察官が記入するものである。

2 「罪名」とは、少年の行為が触れた刑罰法令に係る罪名をいう。

取扱者印

# 触法調査

別記様式第15号の2 (少年法第6条の5、刑訴法第222条、  
第123条)

少年	
罪名	

## 電磁的記録に係る権利放棄書

年 月 日

警察署

官職

殿

住居

氏名

印

下記目録の物件に係る電磁的記録について、少年法第6条の5第2項において  
準用する刑事訴訟法第222条第1項において準用する同法第123条第3項の規定  
による記録媒体の交付又は電磁的記録の複写の許可を受ける権利を放棄します。

### 目 録

符号	番号	品 名	数 量	備 考


- 注意 1 符号は、証拠物総目録によって付ける押収物の整理番号で、警察官  
が記入するものである。  
2 「罪名」とは、少年の行為が触れた刑罰法令に係る罪名をいう。

取扱者印

# 触法調査

別記様式第16号 (少年法第6条の5、刑訴法第222条、  
第123条、第124条)

少 年	
罪 名	

## 還 付 請 書

年 月 日

警 察 署

官職

殿

住 居

氏 名

⑩

下記目録の物件の還付を受け、領収しました。

### 目 録

番 号	品 名	数 量	備 考
1			

注意 「罪名」とは、少年の行為が触れた刑罰法令に係る罪名をいう。

取扱者印

# 触法調査

別記様式第16号の2 (少年法第6条の5、刑訴法第222条、  
第123条)

少年	
罪名	

## 交付請求書

年 月 日

警察署

官職

殿

住居

氏名

印

下記目録の物件の交付を受け、領収しました。

### 目 録

番号	品 名	数 量	備 考

注意 「罪名」とは、少年の行為が触れた刑罰法令に係る罪名をいう。

取扱者印

# 触法調査

別記様式第16号の3 (少年法第6条の5、刑訴法第222条、  
第123条)

少年

罪名

## 複写電磁的記録請書

年 月 日

警察署

官職

殿

住居

氏名

印

下記目録の物件に移転された電磁的記録の複写を受け、領収しました。

### 目 録

番号	品名	数量	備考


注意 「罪名」とは、少年の行為が触れた刑罰法令に係る罪名をいう。

取扱者印



# 触法調査

別記様式第17号 ( 少年法第6条の5、刑訴法第222条、  
第123条 )

少年	
罪名	

## 仮 還 付 請 書

年 月 日

警 察 署

官職

殿

住 居

氏 名

⑩

下記目録の物件の仮還付を受け、領収しました。必要などきはいつでも提出します。

### 目 録

符 号	番 号	品 名	数 量	備 考
	1			

注意 1 符号は、証拠物総目録によって付ける押収物の整理番号で、警察官  
が記入するものである。

2 「罪名」とは、少年の行為が触れた刑罰法令に係る罪名をいう。

取扱者印

# 触法調査

別記様式第18号 (少年法第6条の5、刑訴法第222条、  
第121条)

少年

罪名

## 保管請求書

年 月 日

警察署

官職

殿

保管者

住居

(電話 )

氏名

印

下記物件を保管します。

保管する物

保管条件

- 注意
- 1 本書は2部作成させ、取扱者において確認の上押印し、1部を保管者に交付し、1部を記録につづること。
  - 2 「罪名」とは、少年の行為が触れた刑罰法令に係る罪名をいう。

取扱者印

# 触法調査

別記様式第19号（少年法第6条の5、刑訴法第218条、第222条）

## 検 証 調 書

年 月 日

警 察 署

官職

印

少年 に対する 触法事件につき、  
本職は、 年 月 日付け 裁判所 裁判官  
の発した検証許可状を 以示して、下記のとおり  
検証をした。

### 記

- 1 検証の日時  
年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで
- 2 検証の場所又は物
- 3 検証の目的
- 4 検証の立会人（住居、職業、氏名、年齢）
- 5 検証の経過

注意 やむを得ない理由により令状を示すことができなかったときは、その理由を付記すること。

（用紙 日本工業規格 A 4）

# 触法調査

別記様式第20号(少年法第6条の5、刑訴法第218条、第222条、刑訴規則第139条、第155条、第156条)

## 身体検査令状請求書

年 月 日

裁判所

裁判官 殿

警察署

官職

印

下記少年に対する 触法事件につき、下記の者に対する身体検査令状の発付を請求する。

記

1 少年の氏名

年 月 日生 ( 歳)

2 身体検査を受ける者

氏 名

年 齢

年 月 日生 ( 歳) 性別

学校・学年、職業

住 居

健康状態

3 身体検査を必要とする理由

4 検査すべき身体の部位

5 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

6 日出前又は日没後に行う必要があるときは、その旨及び事由

7 事件の事実の要旨

注意 少年の氏名が明らかでないときは、不詳と記載すること。

(用紙 日本工業規格 A 4)

過料処分等請求書

年 月 日

裁判所 殿

警察署

官職

印

下記の者は、年 月 日付け 裁判所  
裁判官 が発した身体検査令状による身体検査を正当な理由がなく  
拒んだので、同人に対する過料処分及び拒絶により生じた費用 の  
賠償命令を請求する。

記

住 居

氏 名

年 月 日生（ 歳）

- 注意 1 過料処分請求のみの場合には、賠償命令の部分を削ること。  
2 身体検査令状その他の疎明資料を添付すること。

# 触法調査

別記様式第22号（少年法第6条の5、刑訴法第218条、第222条）

## 身体検査調書

年 月 日

警察署

官職

印

少年 に対する 触法事件につき、  
本職は、 年 月 日付け 裁判所 裁判官  
の発した身体検査令状を下記被検査者に示して、下記のとおり身体  
検査をした。

### 記

- 身体検査の日時  
年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで
- 身体検査の場所
- 身体検査を受けた者（住居、学校・学年、職業、氏名、年齢、性別）
- 身体検査の立会人（住居、職業、氏名、年齢）
- 身体検査を必要とした理由
- 検査した身体の部位
- 身体検査の経過

# 触法調査

別記様式第23号（少年法第6条の2）

## 実況見分調書

年 月 日

警察署

官職

印

少年 に対する 触法事件につき、  
本職は、下記のとおり実況見分をした。

記

1 実況見分の日時

年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで

2 実況見分の場所、身体又は物

3 実況見分の目的

4 実況見分の立会人(住居、職業、氏名、年齢)

5 実況見分の経過

# 触法調査

別記様式第24号（少年法第6条の4）

## 触法調査嘱託書

年 月 日

殿

警察署

官職

印

触法少年に係る事件の調査のため必要があるので、下記事項につき至急回答されたく嘱託します。

なお、回答の際は本書を添付願います。

記

嘱 託 事 項

【嘱託警察署の所在地】 〒

【担当者氏名】

（電話

）



ぐ犯調査嘱託書

年 月 日

殿

警察署

官職

印

ぐ犯少年に係る事件の調査のため必要があるので、下記事項につき至急回答されたく嘱託します。

なお、回答の際は本書を添付願います。

記

嘱 託 事 項

【嘱託警察署の所在地】〒

【担当者氏名】

(電話

)

# 触法調査

別記様式第26号（少年法第6条の4）

## 触法調査関係事項照会書

年 月 日

殿

警察署

官職

印

触法少年に係る事件の調査のため必要があるので、下記事項につき至急回答願いたく、少年法第6条の4第3項によって照会します。

記

照 会 事 項

【照会警察署の所在地】 〒

【担当者氏名】

（電話

）

ぐ犯調査関係事項依頼書

年 月 日

殿

警 察 署

官職

印

ぐ犯少年に係る事件の調査のため必要があるので、下記事項につき至急回答願いたく、依頼します。

記

回 答 依 頼 事 項

【依頼警察署の所在地】 〒

【担当者氏名】

(電話

)

# 触法調査

別記様式第28号（少年法第6条の4）

## 身上調査照会書

年 月 日

所轄市区町村長 殿

警察署長 ㊟

下記の者について、別添の身上調査照会回答書記載の事項を調査の上、各欄に記入して回答願いたく、少年法第6条の4第3項によって照会します。

なお、本籍、氏名等に多少の相違があっても、同一人であると思われるときは、その旨を備考欄に記載し、その者につき各欄に記入願います。また、該当者がいないときは、その旨を備考欄に記入願います。

本籍が移動しているときは、移動先の市区町村役場へ転送願います。

記

氏 名

生年月日等 年 月 日生（男・女）

本 籍

戸籍筆頭者氏名

備 考

【照会警察署の所在地】 千

【担当者氏名】 (電話 )

(用紙 日本工業規格 A 4)

# 触法調査

別記様式第28号(別添用紙)

## 身上調査照会回答書

年 月 日

警察署長 殿

(所轄市区町村長)

次の者に係る 年 月 日付け身上調査照会について、  
下記のとおり回答します。

氏 名			
生年月日等	年 月 日生 (男・女)		
本 籍	現		
	旧	年 月 日 転籍	
出生地			
住 所	( 年 月 日 登録)		
死亡の日	年 月 日		
破産の有無			
戸籍簿及び住民登録の通知に基づく家族			
続柄	氏 名	生年月日	住 所
備 考	(戸籍筆頭者氏名)		
	照会署担当者名		市区町村取扱者印

- 注意 1 回答に当たって戸籍謄本等を添付した場合には、氏名欄を除いて、同謄本等により判明している事項については、記載を要しない。  
2 生年月日等の欄の該当部分に丸印を付けること。

(用紙 日本工業規格 A 4)

# ぐ犯調査

別記様式第29号

## 身上調査依頼書

年 月 日

所轄市区町村長 殿

警察署長 ㊟

下記の者について、別添の身上調査依頼回答書記載の事項を調査の上、各欄に記入して回答願いたく、依頼します。

なお、本籍、氏名等に多少の相違があっても、同一人であると思われるときは、その旨を備考欄に記載し、その者につき各欄に記入願います。また、該当者がいないときは、その旨を備考欄に記入願います。

本籍が移動しているときは、移動先の市区町村役場へ転送願います。

記

氏 名

生年月日等 年 月 日生 (男・女)

本 籍

戸籍筆頭者氏名

備 考

【依頼警察署の所在地】 千

【担当者氏名】

(電話 )

(用紙 日本工業規格 A 4)

# ぐ犯調査

別記様式第29号(別添用紙)

## 身上調査依頼回答書

年 月 日

警察署長 殿

(所轄市区町村長)

次の者に係る 年 月 日付け身上調査依頼について、  
下記のとおり回答します。

氏 名			
生年月日等	年 月 日生 (男・女)		
本 籍	現		
	旧	年 月 日 転籍	
出生地			
住 所	( 年 月 日 登録)		
死亡の日	年 月 日		
破産の有無			
戸籍簿及び住民登録の通知に基づく家族			
続柄	氏 名	生年月日	住 所
備 考	(戸籍筆頭者氏名)		

依頼署担当者名

市区町村取扱者印

- 注意 1 回答に当たって戸籍謄本等を添付した場合には、氏名欄を除いて、同謄本等により判明している事項については、記載を要しない。  
2 生年月日等の欄の該当部分に丸印を付けること。

(用紙 日本工業規格 A 4)

# 触法調査

別記様式第30号

押収番号

年 第

号

証 拠 物 総 目 録			触法少年	ほ か 名		
符号	品 名	数量	被差押人、差出人又は 遺留者の住居、氏名	所 有 者 の 住 居 、 氏 名	備 考	
					警 察	家 庭 裁 判 所

注意 1 この目録は、家庭裁判所送付、保管委託（警察署保管を含む。）、仮還付の順序に記載し、符号は一連の整理番号とすること。ただし、保管委託及び仮還付のものについては、その旨備考（警察）欄に記載すること。  
2 上部欄外の押収番号は、個々の事件ごとに付した番号を記載すること。



# 触法・ぐ犯調査

別記様式第31号

書 類 目 録			触法少年 ・ ぐ犯少年	ほ か 名	
文 書 の 標 目	作成年月日	作 成 者	申 述 者	丁 数	備 考

注意 触法少年・ぐ犯少年欄の該当部分に丸印を付けること。

# 触法調査

別記様式第32号（活動規則第22条）

## 触法少年事件送致書

年 月 日

殿

警察署

官職

印

下記触法少年に係る事件を送致する。

罪名、罰条			
少年	ふりがな氏名	男・女	生年月日 年 月 日 ( 歳)
	学校・学年	学校	学年在学
	住居	( 電話 )	
	本籍 ( 国籍 )		
保護者	氏名 (名称又は商号及び代表者の氏名)	年齢	歳
	職業	少年との続柄	
	住居 (主たる事務所又は本店の所在地)	( 電話 )	
審判に付すべき事由発覚の端緒			
関連する事件につき、他の被疑者又は審判に付すべき少年の氏名及び捜査又は調査中、送致又は未送致の別等			
審判に付すべき事由並びに情状及び処置に関する意見			
証拠その他参考となるべき事項			
調査主任官の官職氏名 ( 電話 )			

- 注意 1 この送致書は、触法少年に係る事件の児童相談所長への送致に用いること。  
2 「罪名、罰条」とは、少年の行為が触れた刑罰法令に係る罪名及び罰条をいう。

(用紙 日本工業規格 A 4)

# ぐ犯調査

別記様式第33号（活動規則第33条）

## ぐ犯少年事件送致書

年 月 日

家庭裁判所 殿

警察署

官職

印

下記ぐ犯少年に係る事件を送致する。

件名	ぐ犯少年に係る事件 少年法第3条第1項第3号 <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ロ <input type="checkbox"/> ハ <input type="checkbox"/> ニ			
少年	ふりがな 氏名	男・女	生年月日	年 月 日 ( 歳)
	職業 学校・学年	学校		学年在学
	住居	( 電話 )		
	本籍 ( 国籍 )			
保 護 者	氏名 (名称又は商号及び代表者の氏名)	年齢	歳	
	職業	少年と の続柄		
	住居 (主たる事務所又は本店の所在地)	( 電話 )		
審判に付すべき事由発覚の端緒				
関連する事件につき、他の被疑者又は審判に付すべき少年の氏名及び捜査又は調査中、送致又は未送致の別等				
審判に付すべき事由並びに情状及び処置に関する意見				
証拠その他参考となるべき事項				
調査主任官の官職氏名 ( 電話 )				

- 注意 1 この送致書は、ぐ犯少年に係る事件の家庭裁判所への送致に用いること。  
2 □印のある欄については、該当の□内にレ印を付すこと。

(用紙 日本工業規格A4)

# 触法調査

別記様式第34号（少年法第6条の6）

証 拠 物 送 付 書				
			年 月 日	
家庭裁判所		殿		
		警 察 署		
		官 職		
⑩				
下記触法少年に係る事件の証拠物を送付する。				
少 年	ふ り が な 氏 名	男・女	生年月日	年 月 日 ( 歳 )
	学 校 ・ 学 年			
	住 居	( 電話 )		
	本 籍 ( 国 籍 )			
家庭裁判所に送致した 児 童 相 談 所 長 名				
児童相談所長から家庭 裁判所への送致年月日		年 月 日		
児童相談所長から家庭 裁判所への送致罪名				
証 拠 物	別紙証拠物総目録のとおり			
備 考				
調査主任官の官職氏名		( 電話 )		

- 注意 1 警察官から児童相談所長に送致した触法少年に係る事件について、児童相談所長が家庭裁判所に送致した場合の、警察官から家庭裁判所への証拠物の送付に用いること。
- 2 家庭裁判所に送致した旨児童相談所長から通知された書面の写しを本書末尾に添付すること。
- 3 「罪名」とは、少年の行為が触れた刑罰法令に係る罪名をいう。

(用紙 日本工業規格A4)

# 触法・ぐ犯調査

別記様式第35号（活動規則第22条、第33条）

追送致書		
年 月 日		
殿 警察署 官職 ㊟		
下記少年に係る事件を追送致する。		
追送致罪名及び罰条又は件名		少年の氏名
第1回の 送致	年 月 日	罪名又は件名
	年 月 日	
1 関連する事件につき、被疑者又は審判に付すべき少年の氏名、逃走中、捜査又は調査中、送致未送致の別、送致年月日等		
2 追送致する事件につき、審判に付すべき事由並びに情状及び処置に関する意見		
3 調査主任官の官職氏名  (電話 )		

注意 1 前に送致した同一少年に対する関連事件を追送致する場合に用いること。  
2 「罪名・罰条」とは、少年の行為が触れた刑罰法令に係る罪名及び罰条をいう。

# 触法・ぐ犯調査

別記様式第36号

## 関係書類追送書

年 月 日

殿

警察署

官職

印

下記少年事件の関係書類を追送する。

少年の氏名	
送致年月日	年 月 日
送致罪名又は件名	

### 追送書類目録

文書の標目	作成年月日	作成者	申述者	丁数	備考


- 注意 1 家庭裁判所又は児童相談所に送致した少年事件の関係書類を追送する場合に用いること。  
2 「罪名」とは、少年の行為が触れた刑罰法令に係る罪名をいう。



# 触法・く犯調査

別記様式第38号

事件引継書			年	月	日
官職	警察署	殿			
		官職	警察署		印
下記事件を引継ぎする。					
事件名		罪名又は件名			
事件の事実及び調査の概要					
証拠物	品名			数量	
書類の標目					
少年	本籍 (国籍)				
	住居				
	職業 学校・学年				
	氏名・年齢	( 歳)			
	所持金品	品名		数量	
引継ぎの理由					
その他参考となるべき事項					
引継ぎを受けた者	以上のとおり引継ぎを受けた。 年 月 日 警察署 官職 印				

- 注意 1 引継ぎに当たっては、正副2通を作成し正本を引継ぎを受ける者に交付し副本にその者の署名押印を求めること。  
2 「罪名」とは、少年の行為が触れた刑罰法令に係る罪名をいう。

(用紙 日本工業規格A4)



# 触法・ぐ犯調査

別記様式第39号（活動規則第20条、第31条）

第 号  
年 月 日

殿

警 察 署 印

（電話 ）

の用件についてお尋ねしたいことがありますから、次の日時、場所においでください。

1 日時 年 月 日 午 時 分から  
午 時 分までの間

2 場所 警察署

担当係員

注意 1 この通知書、印鑑 を  
持参してください。

2 交通の便

上記の日時に来られないときは、その理由を通知してください。

# 触法・ぐ犯調査

別記様式第40号（活動規則第20条、第31条）

## 呼 出 簿

決 裁 欄				
番 号				
呼出月日時	年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで	年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで		
連絡月日時	月 日 午 時 分	月 日 午 時 分		
連絡方法	呼出状 口頭（電話 直接） その他（                      ）	呼出状 口頭（電話 直接） その他（                      ）		
連絡相手	氏名                      関係	氏名                      関係		
保護者等に連絡 しなかった場合は その理由				
触法少年、 参考人等の別	触法少年 ぐ犯少年 重要な参考人 参考人                      被害者	触法少年 ぐ犯少年 重要な参考人 参考人                      被害者		
呼出しを要 する理由	質問 実況見分の立会い その他（                      ）	質問 実況見分の立会い その他（                      ）		
呼 出 人	住 居			
	氏 名			
呼び出した場所	警察署（      交番） その他（                      ）	警察署（      交番） その他（                      ）		
係員氏名				
記入者氏名				
結 果	任意同行した時間	午 時 分から	午 時 分から	
	触法少年等に 質問した場合は その時間及び 立ち会った者	午 時 分から 午 時 分まで	午 時 分から 午 時 分まで	氏名                      関係
	立会いを実施 しなかった場合 はその理由			
参 考 事 項				

- 注意
- 1 連絡方法欄、触法少年、参考人等の別欄及び呼出しを要する理由欄の該当部分に丸印を付けること。
  - 2 結果欄は、呼出人が呼出しに応じた場合に記載すること。
  - 3 「保護者等」とは、保護者又はこれに代わるべき者をいう。
  - 4 「触法少年」とは、触法少年であると疑うに足りる相当の理由のある者をいう。
  - 5 「ぐ犯少年」とは、ぐ犯少年と認められる者をいう。

（用紙 日本工業規格 A 4）

還付通知書

年 月 日

殿

警察署 印

( 電話 )

1

前記の証拠物は、 年 月 日 警察署に  
おいてあなたに仮に還付しておきましたが、必要がなくなりましたから、  
適当に処分されて差し支えありません。

取扱者印

# 触法調査

別記様式第42号

廃棄処分書	
年 月 日	
警察署	
官職	
印	
少年 に対する 触法事件に関する下記 押収物につき、次のとおり廃棄処分をした。	
廃棄した年月日時 及び場所	年 月 日 午 時 分から 午 時 分までの間
廃棄した押収物の 品名及び数量	
危険を生じ、又は 生ずるおそれの あった状況等	
廃棄前に写真、見 取図、模写図又は 記録を作成した ときは、その旨	
押収物の一部を 保存したときは、 その状況	
処分の結果	
立会人があつた ときは、その者 の住居、職業、 氏名、年齢	
その他参考と なるべき事項	

# 触法調査

別記様式第43号

換 価 処 分 書					
年 月 日					
警察署					
官職 <span style="float: right;">⑩</span>					
少年 に対する 触法事件に関する下記 押収物につき、次のとおり換価処分をした。					
処分をした年月日時		年 月 日 午 時 分から 午 時 分までの間			
及 び 場 所					
処分をした 押収物	品 名	数 量	基 準 単 価	換 価 額	単 価 決 定 基 準
				合 計	
換 価 処 分 を す べ き 理 由					
処分前に写真、見 取図、模写図又は 記録を作成した ときは、その旨					
押収物の一部を 保存したときは、 その 状 況					
買受人の住居、職 業、氏名、年齢					
立会人の住居、職 業、氏名、年齢					
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項					

# 触法・ぐ犯調査

別記様式第44号（活動規則第17条、第30条）

(その1)

## 少年事件処理簿

種別	触法・ぐ犯	受理	年 月 日	番号	第 号
少年カード	作成（第 号）・作成せず		移送	年 月 日 警察署	
少年	ふりがな 氏名		男・女	生年月日	年 月 日 ( 歳)
	住居	電話( )			
	職業 学校・学年				
保護者	ふりがな 氏名 <small>(名称又は商号及び代表者の氏名)</small>	( 歳)	職業		
	住居 <small>(主たる事務所又は本店の所在地)</small>	電話( )			
事件の概要	端緒		種別		
	証拠物	有・無	押収番号	( 年 第 号)	
	概要				
緊急同行状執行	開始日時	年 月 日	時 分		
一時保護委託	引渡日時	年 月 日	時 分		
措置	児童相談所通告	年 月 日	処遇意見	処分結果 年 月 日	
	児童相談所通知	年 月 日			
	児童相談所送致	年 月 日			
	家庭裁判所送致	年 月 日			
	家庭裁判所送付 <small>証拠品付</small>	年 月 日			
警察における補導の措置					
調査主任官	課	係	官職	氏名	
報告者 連絡	課 氏名	係	担当者	課 氏名	係

(用紙 日本工業規格A4)

# 触法・ぐ犯調査

別記様式第44号（活動規則第17条、第30条）

（その2）

決		裁	月日	指揮伺・指揮事項	備考
本部長 署長	部長 副署長	課長 課長			

（用紙 日本工業規格A4）

# 触法調査

別記様式第45号（活動規則第21条）

## 令 状 請 求 簿

番 号	第 号	第 号	第 号	第 号		
令状請求 決裁月日	月 日	月 日	月 日	月 日		
令状種別						
罪 名						
少 年 氏 名						
令状 発付	月日時	月 日 午 時 分	月 日 午 時 分	月 日 午 時 分		
	裁判官 氏 名					
令状 執行	月日時	月 日 午 時 分	月 日 午 時 分	月 日 午 時 分		
	執行官 氏 名					
有効期間 及び更新 状 況	登載 要求	有 効 期 間	登載 要求	有 効 期 間	登載 要求	有 効 期 間
	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日
	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日
	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日
	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日
	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日
	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日
	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日
備 考						

注意 「罪名」とは、少年の行為が触れた刑罰法令に係る罪名をいう。

（用紙 日本工業規格A4）



# 触法・ぐ犯調査

別記様式第46号（活動規則第22条、第33条）

## 身 上 調 査 表

資料区分	
------	--

少年の氏名		異名		生年月日		職業	勤務先 名称 所在地	収入		
本籍				出生地			勤務先・職種	所在地	在職期間	退職理由
住居				財物加害高			非行等名			
非行場所				職業			補導年月日			
家族関係	主な家族の氏名			続柄	年齢	職業	補導警察署			
学校	最終（在学）学校名					所在地	措置及び処分結果			
関係	怠学		成績				喫煙	有機溶剤その他の薬物乱用		

取扱警察署	発生地管轄警察署	検挙警察署	身柄引渡警察署	処遇意見			
罪名				最終（在学）学校			
既遂・未遂別				卒業・中退別			
手口				共犯形態			
非行時の居住地				少年が犯した他の犯行（異なる罪種）	刑法犯		
性別					特別法犯		
非行時の年齢				非行府県数			
非行時の学職							
学職の特殊形態							
国籍等				身柄措置			
在留資格等（外国人）				本票記載非行の供述状況			
不法滞在期間（外国人）				暴力団等関係			
補導歴・非行歴	補導歴	回	非行歴	団体の名称			
				組織順位			
前回処分				地位			
非行年月日時				ゴロ・総会屋等			
非行場所				犯罪態様	犯罪態様		
非行の動機・原因	背景				民事介入暴力		
	父親の態度				関係検挙票番号	署 年 月 第 号	
	母親の態度				作成者	年 月 日作成 署 係 氏名 印	
	直接の動機・原因				（記載事項以外で送致・通告先機関における処遇上参考となる事項を記載する。）		
精神障害等の有無							
家出関係							
生活形態							
両親の状態							
母の不在状況							
非行集団関係	暴力団との関係の有無						
	集団の種別						
送致等の区分							

# 触法・ぐ犯調査

別記様式第47号

(その1)

## 調査事故簿

		番号
事故又は紛議等の件名		
関係警察署	警察署	
認知年月日	年 月 日	
認知の端緒		
事故又は紛議等の概要		
警察としての意見及び今後の見通し		
警察として採った措置	月 日	措 置
備考		

# 触法・ぐ犯調査

別記様式第47号

(その2)

事故又は 紛議等の問題と なっている点			
上記の問題に ついての真相等			
処 理 結 果			
報 告	警 察 庁 管 区 警 察 局 本 部	月 日	第 号